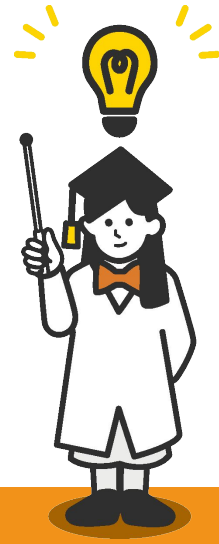




TOKYO METROPOLIS

学びのアップデート 28

Learning Updates



Contents menu

-  01 SNSやインターネットに起因するトラブルから子供たちを守りましょう。
-  02 新年度になりました、「SNS学校ルール」をアップデートしていきましょう。
-  03 プログラミングイベント「みんなでアプリ作ろうキャンペーン」開催

最近、子供たちが危険に
巻き込まれる嫌なニュースが
増えたな・・・



個人情報流出



人間関係のトラブル



子供たちを守るためにも、
子供たちの情報活用能力を育てる
いい教材があれば・・・



闇バイト



なりすまし

子供たちの情報活用能力を高める教材を次のページで紹介します。



活用型情報モラル教材の紹介

教材はこちらのリンクからアクセスし、使用してください。
情報教育ポータルサイト：<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/>



活用型情報モラル教材「GIGAワークブックとうきょう」や「考えよう！デジタルリテラシー」を紹介します。

「GIGAワークブックとうきょう」

情報モラル教育と情報活用を学ぶための教材です。児童・生徒がネットの特性やリスクを理解し、適切なコミュニケーション方法を学ぶことができます。（コンテンツは随時追加中）



「考えよう！デジタルリテラシー」

「闇バイト」や「ネットで知り合った人と会う」など、最近のトラブル事例について学べる教材です。教室等の中で、話し合いながら自分の考えを深めることをねらいとしています。（コンテンツは全9種）



大田区立東蒲小学校の取組

運動会前の非常にお忙しい中、取材活動に御協力いただきありがとうございました。

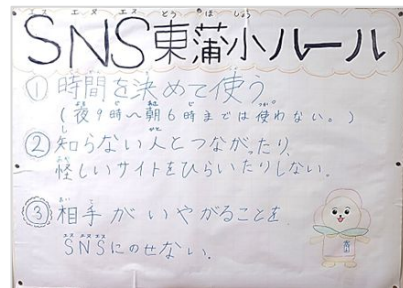


子供たちの意見をもとに「SNS学校ルール」を見直している大田区立東蒲小学校の取組を紹介します。

大田区立東蒲小学校長 鈴木 裕二 先生

東京都の施策に沿う形で、児童の意見で「SNS学校ルール」を見直す必要性を教職員へ説き、校内体制を整えました。本校では、代表委員会を中心に全校から意見を募り、「SNS東蒲小ルール」を見直しています。

今年度は「SNS東蒲小ルール」を見直した上で、各家庭では「SNS家庭ルール」を設定してもらうことで、保護者への啓発活動も行っています。



令和6年度SNS東蒲小ルール

大田区立東蒲小学校 代表委員会担当 海堀 志織 先生

代表委員会の子供たちは「自分たちで考えたものが学校のルールになる」ということで、とてもモチベーションが高いです。掲示物の作成時には、「低学年の子が読むからルビを振ろう」・「各クラスの似たような意見をうまく組み合わせよう」など、児童が協同的かつ丁寧に作業を行っています。

教員側も、日々の授業中で「SNS東蒲小ルール」を活用しながら指導をしています。



学級会での様子（第二学年）

02 新年度になりました、「SNS学校ルール」をアップデートしていきましょう。

代表委員会による取組・作成フロー

代表委員会では、運動会が終わった6月頃から、「SNS東蒲小ルール」作成に向けて動き出します。



【6月】

- ・昨年度の「SNS東蒲小ルール」の達成度から反省点を話し合い、全校朝会で発表
- ・各学級で担当代表委員が作成までの流れを説明
- ・各学級から意見を収集

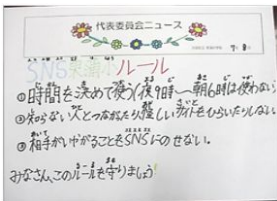


【7月】

- ・集まった意見をまとめ、検討
- ・全校に周知するために掲示物を作成

【夏休み前】

- ・全校朝会で発表
- ・各教室や廊下に掲示



教室配布用の代表委員会ニュース

作成にあたっての工夫

学級だけでなく個人からも意見を受け付ける

「みんなに伝わる・納得する言葉」にまとめる

検討の場では、教員の声掛けが大切

ルビを振るなど「みんなが読める」掲示物にする

子供がSNSに触れやすい夏休みまでに決定・周知

ぜひこの取組を参考に、各校や地域の実態に即した「SNS学校ルール」を、児童・生徒の手で見直してください。



「みんなでアプリ作ろうキャンペーン」

参加者には各回のオリジナルステッカーをプレゼント！

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/appli.html>



東京都ではITリテラシー人材を育成するために、多様なプログラミングイベントを実施しています。

イベント名	アプリ開発ワークショップ	ハッカソン2025	モバイルアプリコンテスト2025
実施日	6・7月	8月4日・5日・7日・8日	作品応募期間：8月下旬～11月下旬
対象者	都立学校の生徒	都内の中高生	都内の中高生
概要	アプリ制作に必要なプログラミングを学び、生成AIを活用したプログラミングを実践します。	設定されたテーマについて4日間、グループでアプリの企画・開発を行います。	身近な課題を解決するために各自で開発したモバイルアプリを募集します。
昨年の様子	https://www.youtube.com/watch?v=StfRrvWFYXQ	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/report/hackathon2024.html	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/applicon2024.html



ハッカソン2025ステッカー
(数に限りがあります)



ハッカソン2024



モバイルアプリコンテスト2024



学びのアップデート 28

Learning Updates

学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、
指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、
ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、
授業そのものをどのように構成するかというソフト面の
両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの
「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、
本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。
東京都教育委員会のホームページにも掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第28号 令和7年6月9日発行 東京都教育庁総務部デジタル推進課